

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ  
大阪教育記者クラブ  
南大阪記者クラブ  
関西レジャー記者クラブ

## 自然の文化祭「大阪自然史フェスティバル2022」を開催します

～開催当日は、関西文化の日のため入場無料～



大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル2022」を、関西文化の日である2022年11月19日（土）、11月20日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、100団体近い自然に関わるサークルや、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展する文化祭です。また、自然に関連する博物館や企業も参加し、活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪周辺の自然の現状や自然に関わる楽しさをお伝えします。

このような趣旨のフェスティバルは、2003年から2019年の間はほぼ毎年この時期に開催しており、各回の来場者は1万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」として楽しんでいただいております。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を見送っていましたが、今回は3年ぶりに開催することとなりました。

### ■開催概要

1. 名称：「大阪自然史フェスティバル2022」
2. 期間：2022年11月19日（土）、11月20日（日）
3. 会場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23（長居公園内）  
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225  
HP：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>  
大阪メトロ御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m  
JR阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入場料：無料 ※2022年11月19日（土）、11月20日（日）ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。

5. 開催時間：9時30分から16時30分（ただし両日とも入館は16時まで）
6. 主催：大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構
7. 協賛：協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、興和オプトロニクス株式会社、ハクバ写真産業株式会社
8. 協力：大阪市立自然史博物館友の会、公益社団法人大阪自然環境保全協会、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会大阪支部

## 9. 開催内容

### ◆ブース展示（両日とも開催）

出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。生き物をモチーフとした作品の販売ブースもあります。

### ◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

### ◆世界の双眼鏡・望遠鏡の展示・販売（両日とも開催）

ケンコー、コーワ、スワロフスキー、ベルボンなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

## 10. 問合せ

### ◆フェスティバルに関するお問い合わせ

大阪自然史フェスティバル事務局（認定特定非営利活動法人大阪自然史センター内）

TEL：06-6697-6262 FAX：06-6697-6306 MAIL：fes2022@mus-nh.city.osaka.jp

「大阪自然史フェスティバル2022」公式webサイト <http://www.omnh.net/npo/fes/2022>

### ◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 山上（やまがみ）

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23（長居公園内）

TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225 MAIL：k-yamagami@ocm.osaka

## ■広報用提供写真（写真はすべて2019年以前に撮影したものです）

1. 会場内の出展ブースの様子  
（ネイチャーホール）



2. 会場内の出展ブースの様子  
（玄関前ポーチ）



3. 大阪市立自然史博物館友の会  
による自然観察体験



## イベントなど詳細情報

### ◆講習会・体験講座

<11月19日(土)>

#### 「叶内拓哉とバードウォッチング」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

日 時：11月19日(土) 13:30～14:30

参加費：無料(ただし植物園入園料が必要)

定 員：先着50名

講 師：叶内拓哉氏(野鳥写真家)

集合場所：長居植物園内

主 催：興和オプトロニクス株式会社

<11月20日(日)>

#### 「はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだ経験のない方も大歓迎です。

日 時：11月20日(日) 10:30～12:00、13:30～15:00

参加費：無料(ただし植物園入園料が必要)

定 員：各回先着30名

集合場所：長居植物園内

主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月19日(土)・20日(日)>

#### 「谷口高司鳥絵工房『谷口高司のたまご式鳥絵塾』」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

日 時：11月19日(土) 14:30～15:30

11月20日(日) 11:00～12:00、13:00～14:00、14:30～15:30

参加費：1000円(画材代)

定 員：各回先着30名

対 象：小学3年生以上

集合場所：博物館玄関前ポーチ

その他：画材の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可。

主 催：谷口高司鳥絵工房

#### 「長居公園の生きものを探そう」

長居公園で、植物の観察や昆虫などの生きもの探しをしてみましょう。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

日 時：11月19日(土) 11:00～12:00、14:00～15:00

11月20日(日) 11:00～12:00、14:00～15:00

参加費：無料

定 員：各回先着 30 名  
集合場所：博物館玄関前ポーチ  
主 催：大阪市立自然史博物館友の会

◆講演会・シンポジウム（会場：講堂）

<11月19日（土）>

講演会「叶内拓哉 野鳥の話 アレコレ」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、野鳥撮影はもちろんのこと、豊富な経験・知識を元にした野鳥に関する話を聞くことができます。

日 時：11月19日（土） 10：30～12：00

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：先着 170 名

講 師：叶内拓哉氏（野鳥写真家）

主 催：興和オプトロニクス株式会社

講演会「知らず嫌いじゃもったいない！ ゴキブリの世界」

嫌われがちな昆虫、ゴキブリ。名前も聞きたくないというくらい苦手な方も多く、家の中に侵入してきてどうしたらいいかわからなくなったという経験を持つ方もいるのではないかと思います。しかし考え方によっては、誰もが知っているような知名度の高い昆虫であり、家に出るほど身近な昆虫でもあります。「嫌い」という感情のバリアを一度外して、彼らに目を向けてみるとその魅力に当てられてしまうかもしれません。今回は知らず嫌いじゃもったいないゴキブリの世界についてご紹介します。

日 時：11月19日（土） 13：00～15：00

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：先着 170 名

講 師：柳澤静磨氏（磐田市竜洋昆虫自然観察公園）

主 催：関西自然保護機構

講演会

第1部「緊急報告 四国の西南部に分布を拡大する侵略的外来種サンジャク」

講 師：中村滝男氏（生態系トラスト協会会長）

第2部「榎本佳樹と中西悟堂 ～野外鳥類研究の草分けと野鳥の会創始者 二人のつながり～」

※榎本佳樹生誕 150 年記念事業 2023 プレ企画

講 師：納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部長）

日 時：11月19日（土） 15：00～16：30

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：先着 170 名

主 催：日本野鳥の会大阪支部・生態系トラスト協会・中西悟堂協会

<11月20日(日)>

シンポジウム「夢洲・大阪湾岸の水鳥の渡来環境の保全・回復を目指して」

2025年大阪関西万博の開催地である夢洲の水鳥の渡来地としての重要性を改めて見つめ、夢洲を含めた大阪湾岸のシギ・チドリなどの水鳥の渡来環境をどのように保全し、回復していくかを考えます。

日 時：11月20日(日) 14:00～16:30

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：先着170名

講 師：渡辺綱男氏 (IUCN-J 会長)

上田恵介氏 (公益財団法人 日本野鳥の会会長)

高田直俊氏 (公益社団法人 大阪自然環境保全協会前会長)

納家 仁氏 (日本野鳥の会大阪支部長) ほか

主 催：日本野鳥の会大阪支部・大阪自然環境保全協会